

基本目標 I いっしょに食べよう、育もう 子どもの食習慣 <子どもの健全育成>

1 家庭における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	妊産婦や乳幼児に対する保健指導	3～4か月児健康診査	離乳食の進め方についての集団指導や栄養相談などの実施	通年 ③024回 604人 ①24回	医療機関 市(保健センター)
		すくすく相談(乳幼児クリニック)	低体重児及び未熟児等ハイリスク児への小児科専門医による診察や相談及び栄養相談の実施	通年 ③06回 15人 ①6回	
		1歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ③023回 193人 ①24回	
		3歳6か月児健康診査	栄養相談や保健相談などの実施	通年 ③023回 205人 ①24回	
		もうすぐパパママ教室	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発	通年 ③011回 父144人 母146人 ①11回	
		育児相談	乳幼児を対象とした栄養相談の実施	通年 ③012回 193人 ①12回	
		離乳食実習(もぐもぐ教室)	離乳食初期の乳児を持つ親を対象とした講義と、離乳食実習の実施	通年 ③012回 174人 ①12回	
		わくわく広場	心身の発達などに心配のある子どもを対象とした、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ③010回 98人 ①10回	
		わんぱく広場(要観察児教室)	就学を控えた4・5歳児発達障害要観察児に対して、おやつや遊びなどを通じての小集団指導を実施	通年 ③06回 71人 ①6回	
	むし歯予防教室	おやつのとり方や生活習慣についての集団指導(2.6歳のみ) 歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施	通年 ③0(2.6歳)12回502人 ①(2.6歳)12回		
②	望ましい食習慣や知識の習得	「早寝早起き朝ごはん」リーフレットの配布	文科省発行の基本的な生活習慣づくりに取り組むことを目的としたリーフレットを小学校新1年生に配付	通年 ③01回 ①随時	市(生涯学習・スポーツ課)
		おやこの食育教室	園児や小学生の子どもとその親を対象として、食育に関する講義や郷土料理の料理講習会を実施	8～12月 ③01回 28人 ①1回	(財)日本食生活協会 富山県食生活改善連絡推進協議会
		三世代ふれあいクッキングセミナー	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施	6～1月 ③07回 203人 ①7回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
		栄養ボードと給食サンプルの展示	家庭における食への関心を深めるため、栄養ボードと様々な食材を使った保育園給食を紹介。	通年 ③0全保育園 ①全保育園	保育園、市(子育て支援課)
③	子どもの生活リズムの向上	早寝早起き朝ごはん運動の実施	小・中学校の児童生徒の生活習慣の振り返りと改善を促すため、各学校で実施	通年 ③0定期 ①定期	学校給食センター、幼稚園、小・中学校、市(学校教育課) 保育園、市(子育て支援課)
		食育だよりの配付	正しい食習慣に関する情報を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚園において「食育だよりの配付」や「給食だよりの配付」	通年 ③0定期 ①定期	
		保健だよりの配付	乳幼児期の健康の留意点を保護者へ伝えるため、保育園や幼稚園において「保健だよりの配付」や「すこやかだよりの配付」	通年 ③06回 ①6回	
		小・中学校の児童生徒自身や各家庭における健康への関心を促すため、各学校で配付	通年 ③0定期 ①定期		

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
④	肥満予防の推進	特定健康診査の実施	40歳以上の被保険者を対象として、生活習慣病の前段階であるメタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施	6～10月 ③対象者 15,097人 ①対象者 約14,500人	医療機関、市(保険年金課)
		特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)の実施	特定健康診査の結果をもとに、リスクの高い該当者を対象として、専門スタッフによる生活習慣病改善に向けた個々のプログラムによる健康づくりのサポート	10月～翌年9月 ③対象者 799人 ①対象者 約818人	
		若年健診(35～39歳の健康診査)の実施	若年者に受診の機会を提供することにより、早期の受診意識啓発を行うとともに、必要に応じ保健指導を実施し、生活習慣の改善及び健康意識の向上を図る。	8～9月 ③対象者 562人 ①対象者 約560人	
		服薬コントロール不良者等訪問指導の実施	特定健康診査の結果に基づく、血圧・血糖・脂質の服薬コントロール不良者、非肥満者(非メタボ)の受診勧奨域者について、生活習慣の改善等の保健指導を行うことにより、被保険者の健康管理の徹底を図り、生活習慣病の重症化を予防する。	通年 ③対象者 353人 ①対象者 約400人	
		小児生活習慣病予防検診の実施	小学校4年生を対象に血液検査等を行い、結果に基づき食生活等の健康指導を実施	9月～11月 ③870人 ①870人	
⑤	家族だんらんの推進	「食育の日」の啓発	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発	通年 ③随時 1000人 ①随時 1,000人	射水市食生活改善推進協議会
		「食育だより」の配付【再掲:1-③】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発	通年 ③定期 ①定期	保育園、市(子育て支援課)
		あつたか家族応援プロジェクト	子育て井戸端会議で家庭教育リーフレット「あつたか家族3つのポイント」を配布し説明を行ったり、小学1年生の保護者に対しては、「早寝早起き朝ごはん」の冊子を配布し、食を通じた家族とのコミュニケーションや望ましい食習慣の実践の大切さを伝える。 ⑩「あつたか家族応援DAY 夏休み家族で夏野菜カレーを作ろう」キャンペーンを実施し、家族いっしょに食事を作ったり、食べたりする家族とのだんらんの大切さを普及・啓発する。 ①「あつたか家族応援DAY 家族でシチューを作ろう」キャンペーンを実施し、家族いっしょに食事を作ったり、食べたりする家族とのだんらんの大切さを普及・啓発する。	通年 ③1,455人 ①1,500人	市(生涯学習・スポーツ課) 家庭教育アドバイザー連絡協議会
			いみず親学びスクール「上生菓子体験」にて、親子で上生菓子作り体験し、更に、体験したことを家庭に持ち帰りおしゃべりすることで、家族同士のコミュニケーションの向上を図る。	8月 ③アルビス歌の森店・大島店 ①アルビス歌の森店・大島店	市(生涯学習・スポーツ課) アルビス(株)
				6月 ①29人	市(生涯学習・スポーツ課)
⑥	家庭における手作り料理の推進	CATV番組「ばくばくクッキング」の放映	⑩「具だくさんの汁物でバランスよく」をテーマに、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映 ①「血管を守ろう！メタボを防ぐ食生活」をテーマに、簡単メニューを紹介する番組の作成及び放映	6・9・12・3月 ③4回 ①4回	市(保健センター)
		広報「いみず」にレシピ掲載	広報「いみず」に毎月『食生活改善推進員のおすすめレシピ』を掲載。	毎月 ③12回 ①12回	市(未来創造課、保健センター) 射水市食生活改善推進協議会
⑦	家庭における郷土料理や伝統料理の実践	富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング)	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施	11月～2月 ③3回 57人	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		元気とやまわくわくクッキング	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施	6～1月 ①3回	
		郷土料理や伝統料理の実施	保育園において郷土料理や伝統料理を取り入れて提供。「献立だより」を通じて啓発。	通年 ①定期	
⑧	よく噛む習慣の定着	カミカミメニューの実施	献立に歯ごたえのあるメニューを週1～2回取り入れ、噛むことを指導。また、「食育だより」を通じてよく噛むことの効果を啓発	6月 ③全保育園 ①全保育園	保育園、市(子育て支援課)
		むし歯予防教室【再掲:1-①】	おやつのとり方や生活習慣についての集団指導(2.6歳のみ) 歯科診察、フッ素塗布、個別相談などの実施【再掲:1-①】	通年 ③12回 502人 ①12回	市(保健センター)
⑨	子どもの食事マナーの習得	学校給食通じた指導	給食時の学校放送や学級活動を通じたマナーの啓発	通年 ③随時 ①随時	小・中学校、市(学校教育課)
		「食育だより」の配付【再掲:1-③】	各保育園から配付する「食育だより」などを通じた、手洗いや望ましい食べ方、箸の持ち方など食事マナーの啓発	通年 ③①望ましい食べ方 噛むことの大切さ 手洗いのポイント 食具の使い方	保育園、市(子育て支援課)
⑩	食べ物に対する感謝の念の醸成	ふれあい農園の運営	農産物を栽培しながら食材に対する理解を深めるとともに、周辺農業者及び市民相互の交流を図る施設の運営	通年 ③①58/58区画	NPO法人下村スポーツクラブまいけ、市(農林水産課)

2 学校、保育園等における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	教育活動における食育の推進	食育講座、給食参観の実施	年間食育計画に基づき、栄養と食材に関する「食育講座」や保護者と一緒に給食を食べる「給食参観」などを実施	通年 ③〇定期 ①〇定期	保育園、市(子育て支援課)
		食事マナーの指導	給食時における手洗いの方法やあいさつ、配膳の仕方や箸の持ち方などを指導	通年 ③〇随時 ①〇随時	
		栄養教諭、栄養職員による指導	食に関する年間指導計画に基づき、各教科や総合的な学習の時間などを利用して、旬の食材の紹介や望ましい食生活と食事マナーなどを指導	通年 ③〇随時 ①〇随時	小・中学校、市(学校教育課)
②	食に関する体験活動の推進	保育園における家庭菜園体験	食に興味を持つきっかけづくりとして、園児が野菜の栽培や収穫、調理を体験	通年 ③〇随時 ①〇随時	保育園、市(子育て支援課)
		小・中学校における農業体験	バケツ稲や田んぼでの田植えのほか、各学校の菜園などにおいて、地域の農業者等から指導を受けながら農作業を体験	通年 ③〇随時 ①〇随時	幼稚園、小・中学校
		稚魚放流事業	育てる漁業や地域の食材への理解を深めてもらうため、園児・児童がアユやクロダイ等の稚魚放流を体験	4月～8月 ③〇八幡保育園、大門小 ①〇八幡保育園、大門小	保育園、小学校、市(農林水産課)
		陸上養殖	自分たちの手で飼育することによって自然環境を考えることを目的に行う。H30:イミズサクラマス、R1:メバル(10月10日、放生津小学校でお魚受け入れ式を実施。)	通年 ③〇堀岡小、放生津小 ①〇放生津小	市(学校教育課)
		未来につながる「農」と「食」普及啓発事業	食に関わる人々の様々な活動への理解を深め地場産食材の良さを認識してもらうことを目的に、農業体験活動等を実施し、子どもと地域住民と一緒に、一連の農作業、調理等を体験	通年 ③〇随時 ①〇廃止	市(農林水産課)
③	学校給食における食育の推進	食事マナーの習得	栄養教諭や栄養職員による指導のほか、給食時の学校放送などを通じた食事マナーの習得	通年 ③〇随時 ①〇随時	幼稚園、小・中学校、学校給食センター、市(学校教育課)
		学校給食を通じた指導	栄養教諭や栄養職員が中心となり、学校給食センターから給食を受配する学校と自校で給食を調理する学校のそれぞれに対応した指導体制のもと、各学校の食に関する年間指導計画に基づき学校給食を通じた指導を実施	通年 ③〇随時 ①〇随時	
		豊かで魅力ある学校給食の運営	学校長や給食主任、PTAの代表者などで組織する学校給食運営委員会と栄養職員や調理員などで組織する学校給食研究会において、食材や献立などについて協議を行い、学校給食センターや各学校のそれぞれが豊かで魅力のある給食を実施	通年 ③〇随時 ①〇随時	
④	地場産食材の活用	「射水きときとの日」の実施	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用	通年 ③〇25回 ①〇24回	保育園、市(子育て支援課)
		地場産食材利用の加工食品提供	地元の食材を使ったりんごゼリーや里芋コロッケ、小松菜ギョウザなどを業者に製造依頼し給食に使用	通年 ③〇24回 ①〇24回	
		6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」	圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 子供が口にすると保護者は興味を持っており、学校給食に使用されることで、子供のみならず保護者も地場産物に興味を抱くようになり、現時点及び子供が成長した後の将来的な地場産物の消費拡大につながる事が期待される。 また、地場産物一つ一つの印象は大きなものではないが、6市において「呉西(ゴーセイ)な日!!」を提供することで一体感と特別感をだし、より大きな印象、波及効果をねらう。 ブランドの育成につながる土壌を育むとともに、圏域の消費の定着化を図りたい。	③〇11/19～22 ①〇11月中	とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)

基本目標Ⅱ

みずから知ろう、実践しよう 食で健康生活 <健康に過ごす人生>

3 市民食育推進運動の展開

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	「食育月間」及び「食育の日」における食育の推進	「食育の日」の啓発【再掲：1-⑤】	食生活改善推進員によって「毎月19日は食育の日」として家族揃って食事をとるようチラシ入りティッシュを配布し啓発【再掲：1-⑤】	通年 ③〇 随時 1,000人 ① 随時 1,000人	射水市食生活改善推進協議会
		農業産業まつりの開催	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAIみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11月 ③〇 1回 ① 1回	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
		「食育だより」の配付【再掲：1-⑤】	各保育園から配付する「食育だより」「献立カレンダー」などを通じ「毎月19日は食育の日」を啓発【再掲：1-⑤】	通年 ③〇 定期 ① 定期	保育園、市（子育て支援課）
②	各種団体との連携・協力体制の確立	射水市食育推進会議の開催	食育の推進に関係が深い関係諸団体との連携を図り、射水市食育推進会議の開催を通じネットワークを構築	③〇 1回 ① 1回	市（保健センター）
		食生活改善推進協議会との連携	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催 役員会・理事会の開催	通年 ③〇 伝達講習22回351人 地域食育講習35回1,885人 市役員会13回 理事会 定期 ① 伝達講習22回 地域食育講習30回 役員会・理事会 毎月	市（保健センター）
③	食育推進への理解の増進	ホームページの作成、公表	射水市ホームページで射水市食育推進計画の内容を周知	通年 ③〇 随時 ① 随時	市（保健センター）
		広報誌による周知	食育月間に合わせて食育に関する記事を掲載「食育の日」は毎月掲載	通年 ③〇 随時 ① 随時	
④	各種イベントにおける食育の普及・啓発活動の推進	農業産業まつりの開催【再掲：3-①】	市の農業・産業の持続的な発展を目的として、JAIみず野、射水商工会議所、射水市商工会からの出店のほか、ステージイベントなどを実施（射水市農業産業まつり実行委員会が実施）	11月 ③〇 1回 ① 1回	農林水産業関係団体、食品関連事業者、市（農林水産課）
		親子の料理教室の開催	射水市男女共同参画推進委員会が市内在住・在勤の親子を対象とした親子で作る料理教室を実施	3月 ③〇 1回 ① 1回	射水市男女共同参画推進委員会（地域振興・文化課）
⑤	「日本型食生活」の実践	富山型食生活普及推進事業（いきいきとやま食育クッキング）【再掲：1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲：1-⑦】	11月～2月 ③〇 3回 57人	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		元気とやまわくわくクッキング【再掲：1-⑦】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲：1-⑦】	6～1月 ① 3回	
⑥	「食事バランスガイド」の活用促進	栄養教室（食生活改善推進員養成講座）の開催	正しい食事バランスの理解を図る教材として食事バランスガイドを利用した食生活改善推進員の養成と養成後の普及・啓発	5月～2月 ③〇 11回 130人 ① 11回	市（保健センター）
		ヘルスボランティア養成講座の開催	ヘルスボランティア養成講座において、食事バランスガイドを参考に、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	7.12月7月 ③〇 2回 延36人 ① 1回	
		もうすぐパパママ教室の開催【再掲：1-①】	食事バランスガイドを活用し、子育て世代の食生活について普及・啓発【再掲：1-①】	通年 ③〇 11回 父144人 母146人 ① 11回	
		脂肪バイバイ教室の開催（健康教育）	生活習慣病予防を目標に、食事バランスガイドを参考にした、栄養バランスのとれた食生活について普及・啓発	6・7月6月 ③〇 2回1コース 延31人 ① 2回1コース	

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
⑦	ライフステージに応じた健康な食生活を学ぶ機会の提供	三世代ふれあいクッキングセミナー 【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施 【再掲:1-②】	6～1月 ③07回 203人 ①7回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		若者向け食文化と食育実践推進事業	若い世代や子育て世代を対象に食生活の改善や地域の食文化について学ぶための教室を実施	6～1月 ③01回 15人 ①1回	県(農林水産企画課) 富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会
		生涯骨太クッキング～ロコモチェックでロコモ予防～	高齢者を対象に、乳製品を使用した調理実習を通してロコモティブシンドロームの予防活動の普及	8～12月 ③01回 45人 ①1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
		生活習慣病予防のための減塩推進スキルアップ事業	若者世代、働き世代、高齢者世代を対象に、食事のバランスや減塩・肥満予防等、世代別に生活習慣病予防について講義や調理実習を実施	8～12月 ③03回 ・若者世代 24人 ・働き世代 15人 ・高齢世代 40人 ①3回	
		介護予防きときと倶楽部	地域包括支援センターへの委託事業 高齢者を対象に、介護予防や地域のネットワークづくりを目的とした介護予防教室の実施。(栄養士・歯科医師・歯科衛生士による講義や実技等含む)	通年 ③04～6回1コース/8コース ①4～6回1コース/10コース	地域包括支援センター、市(地域福祉課)
⑧	ボランティアなどの人材育成	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催 【再掲:3-⑥】	生活習慣病の予防や健康づくりを広く地域に普及し、食生活を通して市民の健康の保持増進を図る、食生活改善推進員を養成するための栄養教室を開催 【再掲:3-⑥】	5月～2月 ③011回 130人 ①11回	市(保健センター)

4 地域における食育の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	ボランティア等による食育の推進	「とやま食の匠」派遣制度の活用	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用	通年 ③017個人、2団体 ①17個人、4団体	市(農林水産課)
		伝達講習会、地域食育講習会の開催	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催	通年 ③0伝達講習22回351人 地域食育講習35回1,885人 ①伝達講習 22回 地域食育講習 30回	射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)
		健康づくり食生活改善実践講習会	「減塩」と「野菜もう1皿」を重点テーマとして家庭訪問で塩分チェックとアンケート調査を行い、パンフレット等を活用して減塩・野菜摂取の普及啓発を行う	9月～10月 ③0各地区 366人	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会
		減塩・野菜摂取アンケート調査	「減塩」と「野菜もう1皿」を重点テーマとして家庭訪問で塩分チェックとアンケート調査を行い、パンフレット等を活用して減塩・野菜摂取の普及啓発を行う。	7～12月 ①各地区	射水市食生活改善推進協議会、市(保健センター)
		男性料理教室	男性を対象に、食生活を通じ自らの健康に関心を持つよう料理講習会を実施	8～12月 ①1回	(財)日本食生活協会、射水市食生活改善推進協議会
②	食に関する専門的な支援	市政出前講座	食事と健康との関わりをテーマとした出前講座の実施	通年 ③02回 47人 ①随時	市(未来創造課、保健センター)
		食生活改善推進員研修会	食生活改善推進員を対象に、生活習慣病予防や介護予防につながる知識と技術を習得するための研修会を開催	4～2月 ③011回 571人 ①11回	市(保健センター)
		健康教育	生活習慣改善の意識を高めることを目的として、生活習慣病予防や健康づくり、精神保健についての正しい知識を普及	通年 ③0随時 ①随時	
		健康相談	家庭における健康管理に資することを目的として、心身の健康について必要な保健指導と栄養指導を実施	通年 ③0随時 534人 ①随時	市(保健センター)
		訪問指導	保健指導や栄養指導が必要と思われる人とその家族に対し、生活習慣病予防のための訪問による個別指導を実施	通年 ③0随時 326人 ①随時	
		子育て支援センター栄養講座	支援センター利用者を対象に、離乳食の進め方やおやつをテーマに知識の普及のミニ講義と個別栄養相談を実施	通園 ③012回 ①12回	市(子育て支援課)
③	地域振興会等における食育の推進	地域振興会行事等の開催(生涯学習推進事業)	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、おやつ作りなどを実施	通年 ③0随時 ①随時	地域振興会、市(生涯学習スポーツ課)
④	職場における食育の推進	バランスアップ健康プロジェクト	民間の社員食堂等と連携し、メニュー改善に向けた取り組みを実施。研修会を開催し、食育に関するポスターやリーフレットを配布。	12月 ③01回射水市2社参加 ①1回	富山県厚生部健康課
⑤	外食等における食育の推進	食の健康づくり推進事業	野菜たっぷり、減塩、シニア向けの取組を行っている店舗を、「健康寿命日本一応援店」として登録し、外食時における野菜摂取の促進や塩分摂取の抑制などの食生。活の改善に向けた環境作りを支援する	随時 ③0射水市15店舗登録(12月末現在) ①射水市16店舗登録(9月末現在)	富山県厚生部健康課

5 食の選択力の向上及び安全性の確保

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	食品に関する情報の発信	栄養教室(食生活改善推進員養成講座)の開催	食生活改善推進員を養成する栄養教室において、食品の表示・規格等に関する講座を開催 講師:高岡厚生センター	1月 ③01回 12人 ①1回	市(保健センター)、高岡厚生センター
		食生活改善推進員再教育	食生活改善推進員対象の研修会において、食品の表示・規格等に関する講座を開催	7月 ③00回 ①1回	市(保健センター)
		消費生活サポーター養成事業	消費生活サポーターと食品表示・食の安全などの情報を共有し、市民に対し啓発に努めた。	通年 ③0随時 ①随時	市(生活安全課)
		広報紙等による情報の提供	食中毒防止の情報など、国・県からの情報をもとに、市広報紙やホームページなどを通じた情報の提供	通年 ③0随時 ①随時	市(各担当課)
②	食に関する危機事案発生時の安全性の確保	広報紙等による情報の提供	国・県からの情報を基に、市広報紙やホームページ等を通じて随時情報を提供する。(鳥獣・家畜等の法定伝染病、放射能と食品等に関する情報等を市ホームページにより提供)	通年 ③0随時 ①随時	市(生活安全課、農林水産課)
③	食品の安全性に関する相談体制の確立	消費生活相談の実施	相談内容の専門性から、国、県などと連携した消費生活相談における食品に関する相談等の受付	通年 ③03件 ①2件(現在)	市(生活安全課)
④	食に関するリスクコミュニケーションの充実	国、県及び関係機関との連携	国、県及び関係機関との連携による「食の安全」を含めた様々な消費生活情報を共有	通年 ③0随時 ①随時	市(生活安全課)
		食品衛生協会との連携	飲食に起因する伝染病、食中毒その他の危害を防止し、安全な食品を消費者に提供するための射水食品衛生協会との連携	通年 ③0随時 ①随時	高岡厚生センター、市(保健センター)
⑤	生産・流通管理の徹底	GAPやトレーサビリティ普及への取り組み	射水市農業技術者協議会と連携し、農産物の安全性の確保と産地の信頼性の向上を図るため、市内の農業経営体に対し、GAP(リスク管理措置の記録等)やトレーサビリティ(生産、加工、流通の各履歴情報が確認できる仕組み)を普及	通年 ③0随時 ①随時	射水市農業技術者協議会、市(農林水産課)
		産地情報の伝達	直売所等におけるトレーサビリティ法やJAS法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)に基づく産地情報の伝達	通年 ③0随時 ①随時	農林水産業関係団体
⑥	消費者への情報提供の推進	広報紙等による情報の提供 【再掲:5-①】	国・県からの情報をもとに、市広報紙やホームページ等を通じた情報の提供 【再掲:5-①】	通年 ③0随時 ①随時	市(農林水産課)

基本目標Ⅲ

ずっと伝えよう、育てていこう 射水の恵みく地産地消を通じた地域の活性化

6 地産地消の推進

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	地場産食材の消費の拡大	園芸作物等特産振興	園芸特産物の集団化と共同販売体制の確立を推進するとともに、複合化による水田作経営を体質強化	通年 ③〇随時 ①随時	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		学校給食米粉食品利用助成事業	県産コシヒカリの消費を推進するため、従来の小麦粉パンに替えて米粉パンを学校給食に提供する場合に米粉と小麦粉の価格の差額を助成及び米粉パン以外の米粉食品(米粉麺等)に使用する米粉の価格と小麦粉の差額を助成	通年 ③〇全小・中学校 ①全小・中学校	
②	直売所及びインショップの設置	直売所等のPR	県内の直売所、インショップ情報が掲載されたパンフレットを作成し、直売所等を対象とした県産品購入ポイントなどの各種イベントの実施(県事業)及び県と連携したPR	通年 ③〇随時 ①随時	市(農林水産課)
③	農林水産業者との交流の推進	未来につなぐ「農」と「食」普及啓発事業【再掲:2-②】	食に関わる人々の様々な活動への理解を深め地場産食材の良さを認識してもらうことを目的に、農業体験活動等を実施し、子どもと地域住民と一緒に、一連の農作業、調理等を体験【再掲:2-②】	通年 ③〇随時 ①廃止	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
		稚魚放流事業【再掲:2-②】	漁業資源保全、養殖漁業や地域の食材への理解を深めるため、園児・児童がアユやクロダイ等の稚魚放流を体験【再掲:2-②】	4月～8月 ③〇八幡保育園、大門小 ①八幡保育園、大門小	
		カニ学校給食の実施	地元の特産品への理解を深めるため、ベニズワイガニを市内全小学校6年生の給食時に1杯まるごと提供	9月下旬～11月初旬 ③〇各小学校 ①各小学校	市(学校教育課)
④	地産地消の意識の普及・啓発	直売所等のPR	市内の農産物の直売所に関する情報など、市ホームページで地産地消に関する情報を提供	通年 ③〇随時 ①随時	市(農林水産課)
		チャレンジ農業体験	市内の小学5,6年生を対象に、農作物の定植から収穫、調理(加工)の体験を通じて、農業を身近に感じてもらうとともに、射水市農産物への理解を深める	5月～12月 ③〇4回 ①4回	農林水産業関係団体 市(農林水産課)
⑤	魅力的な地場産品による射水ブランドの育成	園芸ブランド産地強化事業	県の補助事業を活用し、生産拡大や経営の複合化による生産者数や産地の拡大を図るため、機械・施設の整備を支援	通年 ①実施事業者	市(農林水産課)
		近畿大学水産研究所富山実験場研究支援	効率的な養殖システムの開発、振興の支援	通年 ③〇1事業 ①廃止	
		サクラマスPR事業	射水市の新ブランド確立と養殖漁業の振興を支援	通年 ③〇1事業 ①1事業	
		1億円産地づくり支援事業	販売金額1億円を目標に、新規生産者の掘り起こしや作付拡大に取り組む。	通年 ③〇えだまめ、いちご ①えだまめ、いちご	市(港湾・観光課)
		射水ブランド商品開発支援	一次産品及び加工品の商品開発及び販路拡大の支援	通年 ③〇※BS-TBSの番組における「万葉カレイ」についてのロケ協力(6月28日)・放映(7月11日) ※射水ブランド商品開発等支援補助金を利用した「越のわたり蟹」の認知度向上への支援 ①随時	
	「いいとこ、いいもの、ギュギュッと!射水」きときといみず大漁まつり	富山県アンテナショップ「日本橋とやま館」内の和食レストラン「富山はま作」の協力のもと、射水産の特選食材を使用したランチ・ディナーを期間・数量限定で提供し、「射水の上質な食」の魅力や「豊富な天然食材」を首都圏に向けてPRした。	通年 ③〇1月21日(月)～27日(日)の1週間実施 ①1月27日(月)～2月1日(土)の1週間		

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
⑥	射水の旬の食材の情報発信	ホームページによる情報の提供	市ホームページの「新湊のさかな情報」などによる旬の食材に関する情報の提供	通年 ③〇随時 ①随時	市(農林水産課)
		「食育だより」、「給食だより」の配付【再掲:1-③】	旬の食材に関する情報を伝えるため、保育園や幼稚園、小・中学校において「食育だより」や「給食だより」を配付	通年 ③〇定期 ①定期	保育園、幼稚園、小・中学校、市(子育て支援課、学校教育課)
⑦	地場産食材の積極的な使用の推進	「射水きときとの日」の実施【再掲:2-④】	保育園において毎月「射水きときとの日」を設定し、旬の地場産食材を給食に使用【再掲:2-④】	通年 ③〇25回 ①24回	保育園、市(子育て支援課)
		地場産食材利用の加工食品提供【再掲:2-④】	地元の食材を使ったりんごゼリーや里芋コロッケ、小松菜ギョウザなどを業者に製造依頼し給食に使用【再掲:2-④】	通年 ③〇24回 ①24回	
		6市連携地場産献立「呉西(ゴーセイ)な日!!」【再掲:2-④】	圏域内の農林水産物(以下、「地場産物」という。)を使った共通の献立を学校給食で提供し、共通の献立名は、分かりやすく親しみが持てるよう、とやま呉西圏域の「呉西」と特別感をだす「豪勢」をかけ、「呉西(ゴーセイ)な日!!」とする。 子供が口にするものに保護者は興味を持っており、学校給食に使用されることで、子供のみならず保護者も地場産物に興味を抱くようになり、現時点及び子供が成長した後の将来的な地場産物の消費拡大につながることを期待される。 また、地場産物一つ一つの印象は大きなものではないが、6市において「呉西(ゴーセイ)な日!!」を提供することで一体感と特別感をだし、より大きな印象、波及効果をねらう。 ブランドの育成につながる土壌を育むとともに、圏域の消費の定着化を図りたい。	③〇11/19~22 ①11月中	とやま呉西圏域連携事業「呉西圏域ブランド育成事業」、市(農林水産課)
		学校給食研究会、給食部会	栄養教諭、栄養職員などで組織する学校給食研究会、調理で組織する給食部会において、地場産食材を使用した献立などについて協議	通年 ③〇学校1回 保育園12回 ①学校1回 保育園12回	市(学校教育課)、保育園、市(子育て支援課)
⑧	バイオマスタウン構想の推進	ごみ自家処理機購入補助金	家庭から出る生ごみを堆肥化するための処理機購入費の一部を助成(電気式生ごみ処理機の購入価格(税込)の1/3又は15,000円いずれか低い額を補助)	通年 ③〇随時 ①随時	市(環境課)
⑨	食品廃棄の低減	食品ロス削減	③〇家庭から出る食品ロスを削減するため、食品ロス削減啓発チラシを市内全戸配布する。 ①未定	9月 ③〇全戸配布 32,700枚 ①未定	市(環境課)
			夏休みの応募作品として市内の小中学生から「食品ロス削減」の作品募集を行った。	7~9月 ③〇ポスター106点 壁新聞2点 ①ポスター255点 壁新聞2点	
		いみず環境チャレンジ10	市内全小学校4年生について、「環境チャレンジ10」を実施し、食品ロスについても取り組んでいる。	通年 ③〇とやま環境チャレンジ 10市内6校 いみず環境チャレンジ 10市内9校 ①とやま環境チャレンジ 10市内6校 いみず環境チャレンジ 10市内9校	市(環境課)、富山県
		食品ロス丸ごと使いきり推進事業	小中学生とその保護者等を対象に、食品ロスの削減について学び、食材を無駄なく活用するレシピのコンテストを開催する	11月 ③〇2回 計9組 35人	県(農林水産企画課)富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会
	元気とやまわくわくクッキング【再掲:1-⑦】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施【再掲:1-⑦】	6~1月 ①3回	富山県食生活改善連絡推進協議会、射水市食生活改善推進協議会	

7 食文化の伝承・創造

No.	取り組むべき施策	食育に関連する事業名等	事業の概要	実施時期・回数・人数等	担当課・行動主体
①	郷土料理や伝統料理の情報発信	—	市ホームページ等による情報の提供	③〇随時 ①随時	市(関係各課)
②	郷土料理や伝統料理の伝承	「だしで味わう和食の日」	給食に使用されている鰹節やしいたけなどに実際に手で触れ、調理員から「だし」の取り方を聞き、汁物などを食べながら「だし」「和食」「郷土料理」などの会話を全員で楽しむ	11月 ③〇市内全保育園 ①市内全保育園	保育園(子育て支援課)
		伝達講習会、地域食育講習会の開催 【再掲:3-②】	生活習慣病予防のための食生活をテーマとした講義や調理実習を行う伝達講習会や、地域ニーズに則した各種の料理教室などを行う地域食育講習会を開催 【再掲:3-②】	通年 ③〇伝達講習22回351人 地域食育講習35回1,885人 (内 郷土料理・伝承料理 3回 63人) ①伝達講習 22回 地域食育講習 30回	射水市食生活改善推進協議会 市(保健センター)
		三世代ふれあいクッキングセミナー 【再掲:1-②】	食を通じて三世代の交流を推進するとともに、各年代の健康づくりのための食事について学ぶためのクッキングセミナーを実施 【再掲:1-②】	6~1月 ③〇7回 203人 ①7回	富山県食生活改善連絡推進協議会 射水市食生活改善推進協議会
		富山型食生活普及推進事業(いきいきとやま食育クッキング) 【再掲:1-⑦】	地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施 【再掲:1-⑦】	11月~2月 ③〇3回 57人	
		元気とやまわくわくクッキング 【再掲:1-⑦】	食品ロスの削減について学び、地域の食文化や栄養バランスのよい料理を普及するため、旬の地場産食材を使用した郷土料理の調理実習等を実施 【再掲:1-⑦】	6~1月 ①3回	
		「とやま食の匠」派遣制度の活用 【再掲:4-①】	富山県が実施している「とやま食の匠」派遣制度等の周知及び活用 【再掲:4-①】	通年 ③〇17個人、2団体 ①17個人、4団体	市(農林水産課)
③	地域行事等における食文化の伝承	生涯学習推進事業 【再掲:4-③】	多世代が交流する農業体験、親子料理教室、行事食やおやつ作りなどを実施 【再掲:4-③】	通年 ③〇随時 ①随時	地域振興会、市(生涯学習・スポーツ課)